

Settlement Service & Other Business

決済サービス事業他

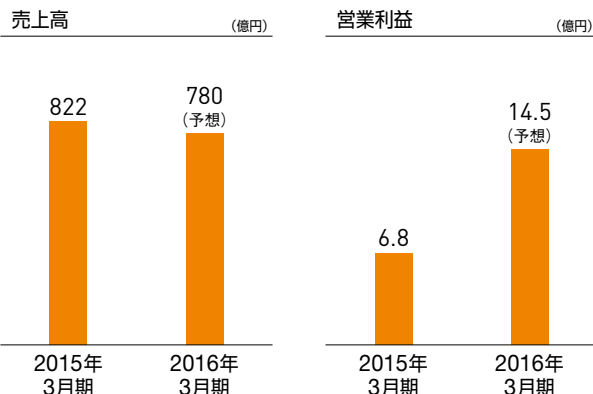
営業利益
セグメント別構成比

4.8%

事業内容

決済サービス、海外事業、その他新規事業

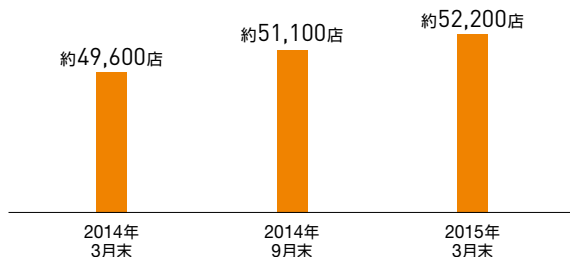
業績



券面額を売上高とする電子マネー系商材から、受取手数料のみを売上高として計上するギフトカードへと商品構成が変化してきており、売上高は822億38百万円となりました。

利益面においては、商材拡充等によりギフトカードの収益は増加したものの、PIN販売システムを用いた電子マネー系商材の販売が減少したことに加え、中国やシンガポールでの海外事業の展開に積極的に費用を投じたことにより、営業利益は6億84百万円となりました。

PIN・ギフトカード取扱店舗数の推移



今後の具体的取り組み

決済サービス事業

- ギフトカード需要の拡大に応じて、商材・販路を拡大し、ギフトカードを拡販
- ハウスカード等の新たな商材の拡充

海外事業

携帯電話等販売事業（中国）

- 4Gサービス本格導入を契機に、日本式サービス・商材を活用し、収益の拡大を推進
- マルチキャリア化に伴い、法人顧客基盤を拡大

決済サービス事業（シンガポール）

- ギフトカードの商材拡充を推進

